

さいたま市長 11月定例記者会見

平成30年11月22日（木曜日）

午後2時00分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社の時事通信さん、進行をよろしくお願いたします。

○ 時事通信 11月の幹事社の時事通信社です。
早速なのですが、議題について市長から説明をお願いいたします。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。
過日行われました全国高校サッカー選手権埼玉大会で本市の浦和南高等学校が17年ぶりの優勝を決め、12度目の選手権大会の出場権を獲得しました。近年は公立高校の出場は難しい状況ですが、野崎監督の指導のもと、選手たちが一丸となって一つの目標に向かい、格上と言われていた相手を破り、見事優勝したことは、さいたま市の誇りでもございます。本大会でも浦和南の良さをいかに発揮し、ぜひ埼玉スタジアムで行われる決勝の舞台へ進むことを期待したいと思います。

比較的暖かい日が続いておりましたが、今週末からいよいよ本来の寒さになり、冬本番といった季節になってまいります。来週から12月議会が始まります。本日は、提出議案などの説明もさせていただきますが、よろしくお願いたします。

それでは、本日の議題に移らせていただきます。

市長発表：議題1「さいたま市議会12月定例会提出議案について」

はじめに、議題1、平成30年さいたま市議会12月定例会提出議案についてご説明をさせていただきます。

12月定例議会ですが、11月28日に開会いたします。議案数は48件でございます。内訳を申し上げますと、専決処分報告議案が1件、予算議案が3件、条例議案が12件、一般議案が26件、道路議案が2件、人事案件が4件となっております。

まず、予算議案からご説明をさせていただきたいと思っております。予算議案

は、一般会計補正予算と病院事業会計補正予算など、企業会計が2件でございます。補正額としましては、一般会計が60億8,019万1,000円でございます。また、企業会計でございますが、病院事業会計など2会計で5億9,683万3,000円、補正額の合計で言いますと66億7,702万4,000円となっております。

補正予算の特徴についてご説明したいと思います。まず、1つ目でございます。スポーツの充実についてです。

さいたまスポーツフェスティバル2019開催事業についてでございますけれども、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会への気運醸成を図り、大会を成功に導くために、市民がオリンピック・パラリンピック競技種目等を気軽に体験できるスポーツイベントであるさいたまスポーツフェスティバル2019を開催するものでございます。今年度中に会場の確保などについて着手する必要があることから、平成30年度から平成31年度までの債務負担行為を設定するものでございます。限度額として2,415万5,000円を計上してございます。このさいたまスポーツフェスティバル2019を通して、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成、またサッカー、バスケットボールの競技会場としての認知度の向上を図ってまいりたいと考えております。

次に、その他、(1) 商工施策管理事業でございますが、これは(仮称)にぎわい交流館いわつきにつきまして平成32年2月に岩槻人形博物館との同時開館を予定しておりまして、年度内に建設工事の契約を行う必要があることから、建設工事に要する経費を計上するものでございます。平成30年度から平成31年度までの2カ年にわたりまして建設工事の日数を要することから、継続費を設定するものでございます。継続費総額が3億7,987万円でございます。多くの観光客が訪れると予想されます2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会につきまして、人形のまち岩槻をさらに発信していく絶好の機会と捉えまして、岩槻人形博物館との同時開館によりまして、にぎわいの相乗効果が生まれるように図ってまいりたいと考えております。

また、2つ目としましては、スマイルロード整備工事ほか10の事項と下水道事業会計でございます。公共工事の施工時期等の一層の平準化を図

るために平成30年度から発注することができるように、平成30年度から平成31年度までの債務負担行為を設定するものでございます。スマイルロード整備工事ほか10の事項については、限度額合計で19億3,754万4,000円、また下水道事業会計につきましては限度額12億4,700万円でございます。

次に、主な条例議案についてご説明をさせていただきたいと思っております。まず、1つ目がさいたま市にぎわい交流館いわつき条例の制定でございます。今回建設のための補正予算も提出をしておりますが、岩槻の歴史及び文化の発信、産業及び観光の振興、また地域活性化の拠点として、地域のにぎわいを創出することを目的に設置するものでございます。隣接する岩槻人形博物館との同日の平成32年2月22日に開館する予定でございます。岩槻人形博物館とともに岩槻のまちなかににぎわいや交流を生む拠点としてまいりたいと考えております。

次に、主な一般議案でございます。岩槻消防署建設（建築）工事請負契約についてでございます。昭和47年の竣工から45年が経過して、施設、また設備の老朽化が著しいために、現在の位置から岩槻区大字岩槻地内に移転して、新庁舎を建設するものでございます。これによりまして、消防力のさらなる充実強化が図られると考えております。また、災害に備える体制を充実させ、安心安全なまちづくりを進めていきたいと考えております。

市長発表：議題2「第4回さいたま国際マラソンを開催します」

続きまして、議題の2に移らせていただきます。開催が迫りました第4回さいたま国際マラソンの概要についてお知らせをしたいと思います。

まず、大会概要からでございます。開催日は、来月8日土曜日、9日日曜日に第4回さいたま国際マラソンを開催いたします。運営体制でございますが、主催、後援などについては前回と同様でございます。日本陸上競技連盟、埼玉県、さいたま市、読売新聞社、日本テレビ放送網でございます。また、協賛につきましてもご覧のとおりでございますけれども、りそなグループには今年度も特別協賛ということでご協力をいただいております。

また、テレビ、ラジオ放送についてでございますが、代表チャレンジャーの部につきましては、日本テレビ系列による全国ネットで生中継される予定でございます。このほか、テレビ埼玉でフルマラソン一般の部、女子ビギナーの部を生中継する予定となっております。また、ラジオ放送につきましては、ご覧のとおり、文化放送、またFM NACK5で放送する予定でございます。本市の様子が長時間にわたりまして地上波で全国に放送されることから、本市の都市イメージを発信することができる絶好の機会であると考えております。

また、前回の大会からの変更点について少しお話をしたいと思います。まず、日程でございますが、本大会から12月開催に変更しました。従来は11月だったわけですがけれども、全日本実業団対抗女子駅伝の予選会と本選の間に開催しておりまして、国内の有力選手が集まりづらい要因の一つとなっております。開催月をずらしたことによって前回は上回る8名の国内招待選手が決定いたしました。

また、変更点の2番目でございますが、事前受付の廃止ということで、全ての部門のナンバーカード等を事前に送付して、大会前日の受付を廃止しました。本大会の発着点でありますさいたまスーパーアリーナは、さいたま新都心駅から徒歩約3分の好立地でございます。大会当日に「来て、走って、帰る」ことが可能になりました。

また、3つ目の変更点としては、フルマラソン女子ビギナーの部を新しく新設しました。これは、フルマラソン完走を目指す女性を対象としたものでございまして、フルマラソン一般の部の後方からスタートして、専属のサポートランナーが並走するなど、フルマラソン完走をサポートする特典がございます。

また、10月6日には、大会を安心して迎えられるように、駒場運動公園で女子ビギナーの部限定の練習会を開催しました。女子代表選考レースの一角を担う大会として、女性参加者が増えることで大会全体の活性化にもつながることを期待しております。

そして、4点目でございますが、これはコースの変更でございます。今回の大会は、第3折り返しの場所を変更したほかに、埼大通りを北浦和駅入り口から西へ下るコースへ変更しました。去年までは一番最後に非常に

厳しい上りというコース設定でありましたけれども、これが下りに変わったということでございます。また、これ以外のコースは前回同様、さいたまスーパーアリーナを発着点としまして、旧中山道、また見沼田んぼを通る国道463号バイパスを使いながら、埼玉スタジアム2002など、さいたまを代表する場所を駆けめぐるコースになっております。

また、8キロメートルの部につきましても、前回同様、フルマラソンと同時にさいたまスーパーアリーナをスタートしまして、駒場運動公園でフィニッシュとなるコースでございます。(フルマラソンは、)今回、埼玉大通りを下るコースに変えたということで、特に終盤が走りやすくなったと考えておまして、タイムにいい影響ができることを期待しております。

次に、エントリー状況についてご説明したいと思います。エントリーにつきましては、平成30年10月9日時点で、全体で2万928名でございまして、過去最高のエントリー数となりました。フルマラソン一般の部などの定員達成はもとより、ファンラン部門も3つの部門で過去最高のエントリー数を記録しました。先ほど説明をいたしました女子ビギナーの部には500名を超えるエントリーがあり、大会コンセプトでもあります「女性ランナーが羽ばたく大会」が根付いていくことを期待したいと思います。

既に11月6日に日本陸連から発表があったとおりですが、東京2020オリンピックにつながる代表チャレンジャーの部には清田真央選手、伊藤舞選手、下門美春選手など、国内外から13名の招待選手が顔をそろえました。国内の招待選手からMGCファイナリストが誕生すること、また海外の選手と国内選手が競うことで大会新記録が生まれることを期待しております。

次に、前日の駒場ファンランについてご紹介をしたいと思います。小学生から大人まで走る楽しさを実感できるランニングイベント、駒場ファンランをフルマラソンの前日の8日土曜日に駒場運動公園で開催します。親子ランの部、また2時間チームランの部など4部門をご覧のスケジュールで実施します。市民のスポーツに対する意欲、関心を高めることにつながるこのファンラン部門がこれだけ充実しているのもこの大会の大きな特徴の一つではないかと考えております。年々エントリー数が伸びてきておまして、このイベントが定着してきていると感じております。

また、応援ランナー、またゲストランナーでございますけれども、2時間チームランの部にはゲストランナーとして、女子プロ野球チームの埼玉アストライアなど、こちらにございますご覧のチームが出場するほか、タレントの福島和可菜さんらが会場を盛り上げていただくことになっております。

また、地元商店街との連携ということで、北浦和駅の東口並びに浦和駅東口周辺の商店会と連携して、5店舗に飲食ブースを出店していただくほか、北浦和駅と浦和駅周辺の17店舗におきまして、ゼッケンを提示しやすく割引などが受けられるサービスを展開してまいります。ランナーだけではなく、お近くの方などにも駒場への応援に来て楽しんでいただきたいと思います。また、帰り際にはぜひ地元商店街をご利用いただきたいと思います。思っております。

続きまして、ボランティアについてでございます。ボランティアの募集についてでございますが、8月3日から5、000名を募集いたしましたところ、5,749名の申し込みをいただきました。個人の方はもちろんでありますけれども、大学、専門学校、企業等から多くの団体申し込みをいただきました。多くの方がこの大会を支えようとしていることを大変うれしく思っています。

東京2020オリンピックの開催が近づいてスポーツ全体が盛り上がっていく中で、「スポーツのまち さいたま」の実現に向けまして、スポーツボランティアという「ささええる」スポーツにも関心が高まっていくことを期待したいと思います。

続きまして、ランナー応援隊でございます。フルマラソンのコース沿道10カ所に区役所や学校などが中心となって応援隊が組織されます。サンバ、あるいは吹奏楽部、太鼓の演奏などを通じて、ランナーの応援をしていただくことになっております。走ったランナーからも、この大会の評価されているものの一つに、沿道からの声援が多く、途切れないことが挙げられております。ぜひ市民の皆様にも沿道から熱い応援を送っていただいで、大会を盛り上げていただければと思います。

次に、埼玉うまいもの市場についてご紹介したいと思います。埼玉うまいもの市場につきましては、12月8日土曜日、9日日曜日の2日間にわ

たりまして、さいたま新都心のけやきひろばにおきまして埼玉うまいもの市場を開催いたします。市内を初め県内から35団体が出店をしまして、埼玉の魅力あふれる「うまいもの」を提供してまいります。

また、特設ステージでは日本陸連マラソン強化戦略プロジェクトリーダーであります瀬古利彦さんと大会サポーターであります川内優輝選手とのトークショー、またパブリックビューイング、フルマラソン一般の部の表彰式などのほか、「応援する人」にも楽しんでいただけるイベントを充実させております。埼玉うまいもの市場を通じて、全国から集まるランナーや観客をもてなして地域の魅力を発信していきたいと考えております。ランナーや応援の方々には、ぜひ埼玉うまいもの市場へ足を運んでいただきたいと思っております。

次に、交通沿道対策についてご紹介をさせていただきます。12月9日は、マラソンコースとその周辺各所で交通規制を実施いたします。市民の皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いしたいと思っております。

最後に、大会まで残すところ2週間程度となりました。ランナーやボランティアが気持ちよく参加できるよう、また応援するの方々にも楽しんでいただけるよう準備を進めてまいります。また、市民の皆様には、ぜひさいたま新都心やコースの沿道におきましてトップランナーの走りを肌で感じていただきながら、市民ランナーにつきましても熱い応援を送っていただければと考えております。

私からの報告は以上です。

議題2に関する質問

- 時事通信 では、発表内容について、各社さん、質問等ありましたらよろしく願いいたします。
- 埼玉新聞 埼玉新聞と申します。
マラソンなのですけれども、市長は参加されるのでしょうか。
- 市 長 出場する予定にしております。
- 埼玉新聞 フルマラソン。
- 市 長 そうですね。フルマラソン。
- 埼玉新聞 目標タイムを聞かせてください。

- 市長 ちょうど数カ月前には一応5時間を切るのを目標にと言っておりましたが、その目標を意識しながら、完走するというを最大の目標にしたいと思っています。

幹事社質問：幼児教育・保育の無償化について

- 時事通信 では、幹事社質問のほうに移らせていただきます。
- 幹事社質問なんです、1点質問させていただきたいと思います。来年の10月から始まります幼児教育・保育の無償化について、無償化の開始から半年間は全額国費負担を政府が検討しているということですが、この点についての市長の受けとめと無償化に伴う今後の市や地方への負担をどのように考えているのかお聞かせください。

- 市長 それでは、幹事社からのご質問にお答えをしたいと思います。
- 来年10月から開始が予定されております幼児教育・保育の無償化におきまして、無償化開始から2020年の3月までの半年間について全額国費で負担することが検討されていることについては報道等で承知をしております。幼児教育・保育の無償化は、子育て世代の負担を軽減するとともに次代を担う子供たちへの投資でもあることから、望ましいと考えております。

無償化開始以降の半年について全額国費で負担することは、消費税率引き上げによりまして実質的に自治体の税収が増えるのは2020年以降となるため、必要であると考えております。

また、2020年4月以降については、地方に新たな負担を生じさせるべきではないと考えておりまして、今年6月と今月実施をいたしました国への単独要望、あるいは全国市長会等を通じて、無償化に伴い新たな財政負担が生じることのないよう要望を行っているところでございます。

先日開催されました全国市長会におきましても、多くの市長さんたちから地方の負担案に対する反発がなされ、また激論が交わされたと伺っております。

今後、国では財政負担の割合等を含めた詳細な制度設計が示されると思いますので、引き続き国の動向を注視してまいりたいと考えております。

- 時事通信 ありがとうございます。
- 各社、幹事社質問の関係で質問等がありますでしょうか。

では、幹事社質問以外の質問がありましたら、各社さん、よろしくお願
いいたします。

その他：九条俳句訴訟について

○ 東京新聞

東京新聞です。

9条俳句のことでお聞きいたします。先日、訴訟を応援する市民応援団の方が、市と教育長宛てに1万人署名、1万2,000人余りだと聞いていますが、出されました。向こうのほうでは、最高裁の判決前に、掲載という形で解決を図りたい、あわせて文筆等にかかわった、表現者の表明というのも出されたと思いますが、市長の受けとめをここで改めてお聞かせください。

○ 市長

勧告であったり、あるいはそれぞれの声明、また署名等々の重みについては認識をしているところでありますが、現在司法による解決を求めて上告をしているところでございます。まずは、裁判の進展を待ちたいと思っております。

○ 毎日新聞

毎日新聞です。

今の9条の俳句の関連で、今の裁判の進展を見守っていらっしゃるということは、原告などが求めている話し合いの解決には、応じる考えはないということでしょうか。

○ 市長

現在原告と、双方で上告を申し立てて、司法の中で判断をいただくという選択をしているわけですが、あわせて相互の理解を図るための話し合いも行っていると聞いておりますので、そういったことをあわせてやらせていただいているということでございます。

○ 毎日新聞

和解による解決という可能性はあるのでしょうか。それともそれはなくて、もう判決を待つと。話し合いをしても、判決が出るまでは解決はないと。

○ 市長

現状としては、裁判の中でということでございますが、裁判でご判断いただくことと、あわせて話し合いの場にもついていると聞いておりますので、双方の中で判断されてくるものだと考えております。

その他：株式会社エム・テックの破産について

- 産経新聞 産経新聞です。

既に報道等でも出ていますけれども、市内の小中学校の工事が、エム・テックの破綻によって工期が延びてしまうということがありましたけれども、それに対する市長の受けとめと、今後どうしていくかをあわせてお答えいただければと思います。
- 市長 現在、予定されておりました仲町小学校の増築の工事と、美園南中学校の新築工事については、株式会社エム・テックが現在破産手続に入ったと聞いておりますけれども、その影響によって4月開校予定が、これ（校舎）が間に合わないということになってまいりましたので、私たちとしては、これから入学を予定している子供たちやご家庭に、できるだけ迷惑をかけないような形で、できるだけ速やかにこの工事が完了できるように、全力を尽くして取り組んでいきたいと思っております。
- 産経新聞 入学予定の子供たちについては、校舎ができるまではどういうふうに対応していくのでしょうか。
- 事務局 校舎ができ上がるまでの子供たちの校舎の利用につきましては、現時点では既存の美園中学校、そして、またこれも既存でございますが、美園小学校の校舎の一部を活用して、4月から教育活動を行ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

その他：待機児童の問題について

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。

認可保育所、待機児童の問題についてお伺いしたいと思います。11月2日に、来年4月1日に認可保育所への新規利用申し込みを希望する方の1次申し込みが締め切られたかと思いますが、申し込み状況ですとか市内の保育所の整備状況、そのあたりについて聞かせていただけますでしょうか。
- 市長 現在集計中でございますので、正確な数値については、まだはっきりしておりませんが、11月2日までの1次受付期間では、申し込みが昨年よりも8%ぐらい増加をしていると報告を受けております。約600人ぐらい増えていると報告を受けているところでございます。

- 埼玉新聞 これは過去最高ということですか。具体的な数字というのは出ないのですか。
- 事務局 数につきましては、過去最高という形でございます。
正確な数字につきましては、市長が申し上げましたとおり約7,600人ということですが現時点ではお伝えできない状況でございます。
- 埼玉新聞 それに対応する本年度中の認可保育所の整備計画、4月1日までにどれぐらい増えるのか、ちょっとまたあれなのですけれども、それに伴う保育士の確保、ちょっとこのあたりについてお聞かせいただけますか。
- 事務局 整備の数につきましては、31年4月に向けましては、認可保育所で申しますと16施設、1,200人から1,300人の間ぐらいで今準備を進めているところでございます。
保育士につきましては、正確な数としては申し上げられないのですけれども、当然ながら保育所を新しく整備するわけですので、民間事業者さんにおいて、それに見合った保育士を確保していただくという形でございます。
- 埼玉新聞 改めまして、市長、待機児童解消へ向けた決意をお聞かせいただけますか。
- 市長 待機児童の解消に向けましては、市長就任以来ずっと取り組んでまいりまして、昨年については旧の基準であります、一旦待機児童ゼロというのを実現したわけですが、新基準について言いますと315人、今年度でいいますと、そういった待機児童がまた発生しているという状況がございます。
いずれにしましても、私どもとしてもこの4年ぐらいの間に、待機児童をゼロにするという取組をさらに強化をしながら、取り組んでいきたいと考えております。

その他：E-KIZUNA Project について

- 読売新聞 読売新聞です。
先日、日産自動車のカルロス・ゴーン氏が逮捕されましたけれども、さいたま市としてはE-KIZUNA Project 協定というのを締結されていてらっしゃって、こちらに関する影響があるのかどうかということと、あと率直な受けとめというのをお聞かせいただければと思います。

- 市長 E-KIZUNA Projectへの影響ということについて言うと、現時点では何とも申し上げられませんが、国内のメーカーで言いますと、日産自動車は非常に電気自動車の普及促進についてはリーダーシップを発揮して、積極的に取り組んでこられたとっております。

ただ、いずれにしても、今電気自動車に変えていくという流れは、これは日本国内だけではなくて、世界的に大きな流れになってきているとっておりますので、そういった流れは、これからも基本的には進んでいくのだろうと思っておりますのでございます。

また、今回のことについては、市内でも日産と取引をしている企業が100社ぐらいあると伺っておりますので、やはりその辺の影響については、少し心配しています。

その他：株式会社エム・テックの破産について

- 毎日新聞 毎日新聞です。
- 先ほどのエム・テックの関係の、小学校の件で確認なのですが、数日前に担当課さんに伺ったときは、工程表を精査しているということだったので、今の市長のご発言を伺いますと、4月の完成は正式に断念をされるということよろしいでしょうか。
- 市長 先日、まず美園南中のJVの残存構成員であります白石建設、また横尾建設からは、平成31年7月末までを工期とする工程表が提出されました。この工程表どおりであれば、やはり1学期、4月に開校するのは（校舎については）難しい、2学期であれば可能ではないかと考えております。
- 仲町小のほうにつきましても、これは担当のほうから。
- 事務局 仲町小学校につきましては、JVの残存構成員のほうから平成31年5月末を工期の予定とする工程表が提出されております。
- 毎日新聞 そうすると、美園南中学校の校舎は7月末に完成して、実際に子供たちが入って教育が行われるのは2学期の9月からということになりますか。
- 市長 もちろんきちんと精査していかなければなりませんけれども、そういう方向になると思います。
- 朝日新聞 朝日新聞ですが、関連して、入学式はやりますか。やるとすればどこでやるんでしょうか、教えていただければと思います。
- 事務局 入学式等の学校行事につきましては、現在行う方向で検討はしているの

ですけれども、詳細につきましては現在検討中でございます。

以上でございます。

その他：スポーツコミッションの法人化について

○ 埼玉新聞

埼玉新聞でございます。

さいたまクリテリウムの関連の質問なのですが、さいたまスポーツコミッション、来年度からさいたまクリテリウムの主催者となるということが先日発表されましたが、さいたまスポーツコミッションの法人化のスケジュール、これはどんな感じになっていますでしょうか。

○ 市長

さいたまスポーツコミッションの法人の設立については、今年の12月の上旬から中旬を予定して進めております。

○ 埼玉新聞

スケジュール的なものというのは、そのとおりに進んでいるということではよろしいのですね。

○ 市長

そうですね。12月設立から3月いっぱいぐらいまでは、現実的には、今後の活動に向けての準備期間という形になると思います。それで、正式に動いていくのは4月以降になると思います。

その他：大宮アルディージャのプレーオフ進出について

○ 埼玉新聞

たびたびすみません、埼玉新聞です。

大宮アルディージャについてお伺いいたします。J2でプレーオフ進出ということで、J1昇格へ道は残っておりますが、清水市長の激励のコメントをいただけると。

○ 市長

シーズン2試合連勝して、5位になりまして、入れかえ戦に参加できるようになったわけでありまして、復帰するにはあと3勝、何とかしなくてはいけないということがありますので、私たちとしても全力で、このJ1復帰を願って応援をしていきたいと思っております。また初戦についてはホームのNACK5スタジアムでやるということでもありますので、私もそちらのほうには応援に駆けつけたいと思っております。

○ 時事通信

ほかに各社さん質問ありますでしょうか。よろしいですか。

以上で記者からの質問は終わらせていただきます。

○ 進行

以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。

なお、次回の開催は12月12日13時30分からを予定しております。

本日はありがとうございました。

午後2時41分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。